

# 一誠堂書店 その1

一誠堂書店は、明治36年（1903年）創業の文科系古書籍、古典籍、稀覯本を取り扱う神田神保町の老舗古書店。

初代酒井宇吉氏が郷里新潟県長岡市にて創業、屋号を「酒井書店」として貸本屋と雑誌文具の取次を営む。大正2(1913)年現在地に移転、屋号を「一誠堂」と改める。由来は『軍人勅諭』中の「一の誠心こそ大切なれ」の一文から。

酒井宇吉氏の兄弟はそれぞれが書店業を営み、出身地である新潟県長岡市の酒井書店、神保町の十字屋書店を興した。また神保町を代表する大型新刊書店のひとつである書泉は宇吉の息子正敏氏が創業したという。

一誠堂では弘文荘の反町茂雄氏をはじめ多くの人材を育て、現在の古書業界に大きく貢献している。

# 一誠堂書店 その2

一誠堂書店の現社屋は、昭和6(1931)年に竣工した当時のままの建物だ。

神田の大火と関東大震災、十余年の間に2回も焼け出された経験から、それまでの木造をやめ、鉄筋コンクリート造で当時としてできうる限りの強度を備えた店舗を建てたそうだ。太平洋戦争の際には、神田界隈も焼け野原となったが、古書店街の目抜き通りであった一丁目電車通り南側と二丁目は奇跡的に空襲を免れ戦前のままの姿で残ったという。（これは一説によるとハーバード大学にいた日本研究者セルゲイ・エリセーエフ氏が、米軍に爆撃を避けるよう進言したためと言われている）。

アールデコ調のモダンな建物で、一階正面の屋号は徳富蘇峰氏の筆による。

築90年を経た今も、頑健さを保ち、現在に至っている。

# 一誠堂書店 その3

今回は一誠堂書店より購入した貴重書からは、以下の2点を展示した。

オズボーン著『Japanese fragments（日本断章）』

ベイジル・ホール著『Extracts from a journal, written on the coasts of Chili, Peru, and Mexico, in the years 1820, 1821, 1822』

『日本断章』は、著者の日本における体験談と、日本と外国との関係史をマルコ・ポーロまでさかのぼり論じた資料だ。浮世絵も多数収録されている。

ベイジル・ホールは、1818年に著した『朝鮮・琉球航海記』がその目新しさから話題を呼び、その後1820年に南米各国を訪れて航海記を出版したが、それが今回展示した資料である。



ISSEIDO

AED

1100



福穂庵画集

平福百穂画集

桂月山人画集

雪華画集

芋銭子遺作画

廣業山水画

西村五雲画集

玉章翁遺墨集

玉堂画

雅邦翁画

五岳二人書

碎巖画譜

雲平遺墨

雲平遺墨集

果亭画譜

華山先生画

梧竹名口

古今和歌集

源氏物語古註

國史内大臣殿歌合

實歌五首

延喜式

古今和歌集

歌合

歌合

歌合

歌合

歌合

歌合

歌合

池大雅先生薦事餘光

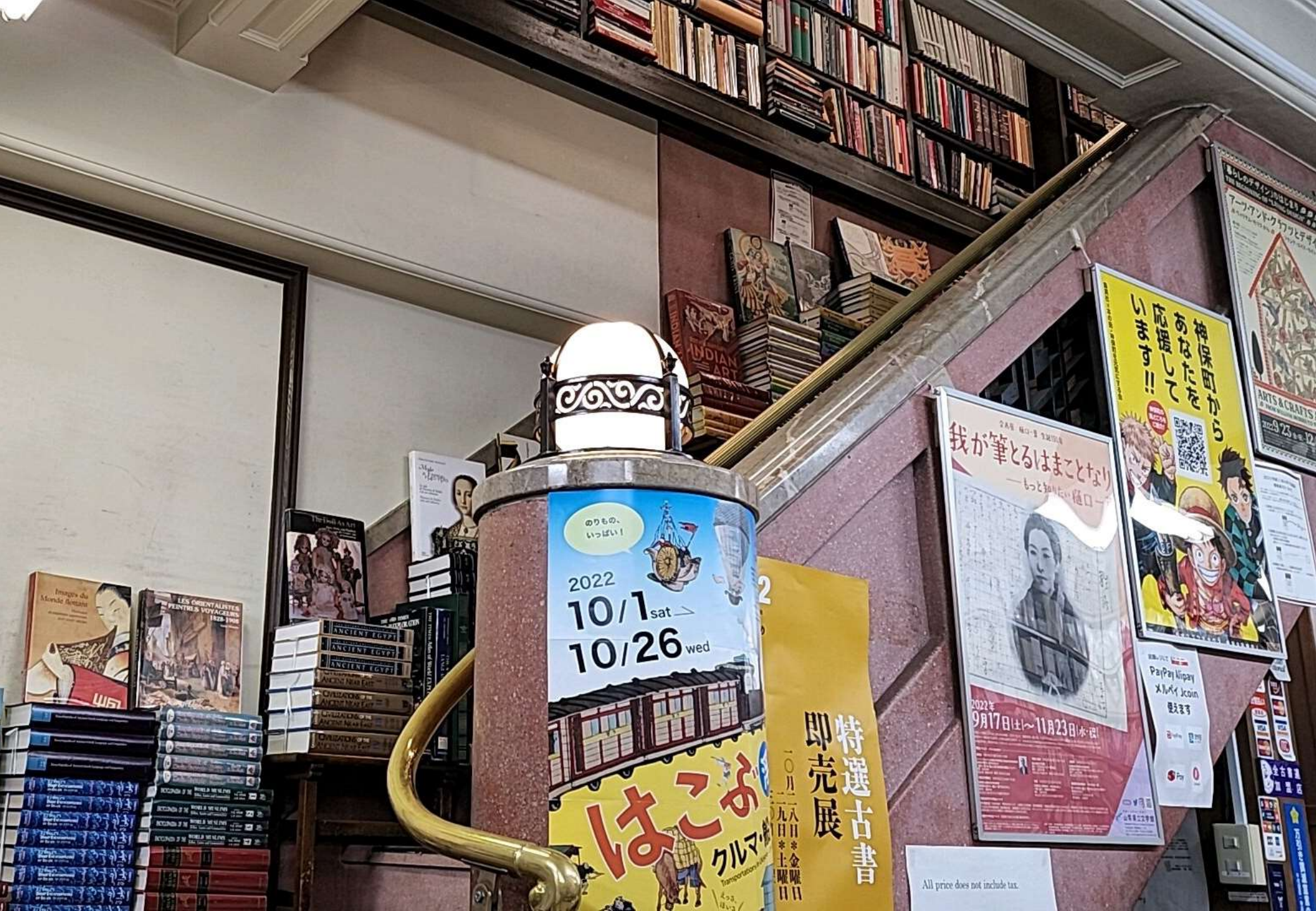
関雪外史画

日本近世名画大

千野後援会

鐵斎先生名画

渡辺華山遺墨



のりもの、いっぱい!

2022  
10/1 sat  
10/26 wed

はこみ  
クルマ

Transportation

特選古書  
即売展

10月1日(土) 10月26日(水)  
10月8日(土) 10月9日(日) 10月10日(月)

我が筆とるはまことなり  
—もっと知りたい! 随口—

2022年 9月17日(土) ~ 11月23日(水)

神保町から  
あなたを  
応援して  
います!!

QRコード

PayPay Allpay  
メルペイ Jcom  
使えます

All price does not include tax.